

診療情報管理科この1年及び医療情報分野の新動向

診療情報管理科 昆 貴 行

当院のHIS (Hospital Information System) としての主軸である、オーダリングシステムの導入から、早くも2年が経過し、ここ半年では導入当初からの懸念事項であった、致命的なシステムダウンもなく、概ね安定稼動しているような気がします。

医療情報分野の新動向

厚生労働省が平成13年12月に公表した「保健医療分野における情報化にむけてのグランドデザイン」によると、平成18年度までには電子カルテを400床以上の病院の約6割以上に普及させることを目標とするものであり、さらに「情報化にむけてのアクションプラン」では「今後医療機関内におけるIT技術者の資格や待遇の確立を図る必要がある」と明示されております。また、平成14年3月29日に閣議決定された「規制改革推進3ヵ年計画(改定)」では、医療分野の重点事項として医療に関する情報開示・公開の推進に並んで医療

分野のIT化の推進を掲げられております。当院においても、インフラは整備したが、それを活用できる人材がいない、若しくはそれらを担うスタッフを技術者として認定する資格が存在しなかったということも事実でありましたが平成15年度より、医療情報学会で「保健医療福祉専門職の一員として、医療の特質をふまえ、最適な情報処理技術に基づき、医療情報を安全且つ有効に活用・提供することができる知識・技術及び資質を有する者」を前提とした、医療情報技師(Healthcare Information Technologist)といった学会認定ではありますが技術者の認定がはじまり、無事今年度取得することができました。

今後の国の動向と当院の方針から推察すると近い将来には新世代のHISである電子カルテの導入が行われると考えられ、その際にはユーザインターフェイス及びシステムの拡張性、堅牢性、高信頼のシステム構築のために努力していきたいと思っております。

